

2018年度

明治大学専門職大学院 会計専門職研究科 入学試験問題

【一般入学試験・Ⅱ期入試】

管理会計論

受験上の注意事項

- 1 試験監督者の指示がある前に、この問題冊子を開くことは厳禁します。
- 2 試験開始の合図により、解答を始めてください。
- 3 問題は5頁まであります。印刷不鮮明等に気付いた場合は、静かに挙手にて、試験監督者に知らせてください。
- 4 問題に関する質問には一切応じません。
- 5 試験時間は60分です。試験開始から試験終了までの間、試験教室からの途中退出はできません。
- 6 試験の際に配付したものは、答案用紙を除き、試験終了後、持ち帰ってください。
- 7 次のもの以外は机の上に置かないでください。

受験票・筆記具(鉛筆可)・時計(計時機能のみのものに限る)・眼鏡・計算機能のみの電卓

なお、受験票は、氏名・受験番号が記載されている面を表にして、受験番号ラベルの下に並べて置いてください。

- 8 答案の下書き等には、問題用紙の余白部分を利用してください。それ以外の用紙等の使用は認められません。
- 9 問題検討のためのラインマーカー・色鉛筆等の使用は、問題用紙に限り許可します。
- 10 試験中に身体の具合が悪くなったときには、試験監督者に申し出てください。ただし、診療所での受験や試験時間の延長は一切認められません。
- 11 試験教室内では、時計・携帯電話・スマートフォン等のアラーム設定を解除してください。携帯電話・スマートフォン等は電源を切り、カバン等にしまってください。時計としての使用も認めません。試験中にカバン等の中で携帯電話・スマートフォン等が鳴動した場合は、試験監督者が本人の了解を得ずに試験教室の外に持ち出すことがあります。試験中に携帯電話・スマートフォン等を身につけていたり、鳴動するなど、不正行為が疑われる場合は、答案を無効にする場合があります。
- 12 試験時間中に日常的な騒音等(試験監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合わせ、航空機・自動車・風雨・空調の音、他の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話・スマートフォン等の鳴動など)が発生した場合でも救済措置はとりません。監督者が試験中断の指示をしない限り、解答を続けてください。
- 13 試験教室内では、耳栓の使用は認められません。
- 14 試験時間中の喫煙や飲食は厳禁します(全館禁煙です)。
- 15 試験終了の合図とともに、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示を待ってください。
- 16 不正な手段によって試験を受け、または受けようとした者に対しては、受験を中止させます。また不正等が、後日判明した場合には、合格の決定を取り消すことがあります。

問題 1

明治工業株式会社における当月（当原価計算期間）の状況は＜資料＞のとおりであった。①～⑤の取引について仕訳を示しなさい。

＜資料＞

1. 棚卸資産期首有高：主要材料 10,000,000 円、補助材料 1,250,000 円、仕掛品 30,000,000 円、製品 37,500,000 円
2. 材料仕入高：主要材料 90,000,000 円、補助材料 6,250,000 円
3. 当期賃金支払高：直接工 55,000,000 円、間接工 22,000,000 円
4. 経費：52,500,000 円
5. 販売費および一般管理費：55,000,000 円
6. 棚卸資産期末有高：主要材料 15,000,000 円、補助材料 2,000,000 円、仕掛品 35,000,000 円、製品 45,000,000 円

- ① 主要材料の指図書別消費額を「仕掛品」勘定に計上した。
- ② 補助材料の消費額、間接工賃金、および経費を「製造間接費」勘定に計上した。
- ③ 製造間接費を製品へ実際配賦した。
- ④ 当月中に完成した製品を「製品」勘定へ振り替えた。
- ⑤ 当月販売した製品を「売上原価」勘定へ振り替えた。

問題2

当社の和泉工場では、実際個別原価計算を採用している。同社の12月中の<資料>に基づき、仕掛品勘定と製品勘定における①～⑧の適切な金額を計算しなさい。

<資料>

- 仕掛品および製品の月初在庫量はゼロであった。
- 原料の月初在庫量は 400kg (単価 2,200 円)、当月仕入量は 3,000kg (単価 2,400 円) であった。また、当月払出量は 3,100kg であり、棚卸減耗は生じていない。
- 原料の消費価格の計算には、先入先出法を適用している。
- 直接工の消費賃率は 1 時間当たり 2,600 円、製造間接費配賦率は直接作業時間当たり 3,800 円であった。
- その他のデータは次のとおりであった。

製造指図書	直接材料費	直接作業時間	備 考
#712001	1,800,000円	340時間	12月着手・完成・引渡
#712002	1,600,000円	260時間	12月着手・完成・引渡
#712003	2,400,000円	400時間	12月着手・完成、12月末未引渡
#712004	?	200時間	12月着手、12月末未完成

仕 掛 品		(単位：円)
直接材料費	(①)	当月完成高 (④)
直接労務費	(②)	期末有高 (⑤)
製造間接費	(③)	
	(?)	(?)

製 品		(単位：円)
当月完成高	(⑥)	当月販売高 (⑦)
	(?)	期末有高 (⑧)
		(?)

問題3

株式会社明治産業では、部品Xのみを製造販売している。＜資料＞に基づき、部品Xの①損益分岐点販売量、②損益分岐点売上高、③目標利益 210,000 円を達成する販売量、④予測販売量が 2,000 個の場合の安全余裕率を計算しなさい。

＜資料＞

販売単価	1,500 円／個
単位当たり変動製造原価	500 円
単位当たり変動販売費	300 円
固定製造原価	600,000 円
固定販売費	400,000 円
一般管理費	120,000 円

問題4

明治化学株式会社では、投資額8,000万円、経済命数10年の設備投資を検討している。この設備投資によって毎年1,320万円の売上増加が見込まれる。毎年の操業費は40万円である。毎年の売上高や操業費はその年のキャッシュ・フローとして発生する。なお設備の耐用年数は10年、減価償却費は定額法で計算し、残存価額はゼロである。この投資案の①投資損益、②会計的利益率を計算しなさい。

問題5

次の用語について説明しなさい。

- ① ローリング予算
- ② 価値連鎖分析
- ③ 予防コスト